

- ホよりチ迄で上記同様の方法にて試験の結果何れも
落ち着いた釉光と深い漆黒色を呈出し特にホとヘは完
全に使用し得る

2.2.4 題目 神ノ川土調合釉試験

番号 成分及び 結果No.	No. 1	2	3	4
雑木灰 神ノ川 同黄土 焼成火 呈度色 光沢度 質入有 品位	30 10 60 S.K.9 飴良無 不佳	30 20 50 1,280°C 飴良無 稍佳	30 30 40 同柿 良無佳	20 30 50 同黒 良無良

- 現在使用中の苗代川生地試験体に上記の釉を施し焼
成の結果還元焰、酸化焰共に大差なくNo.3は僅に流
下状を呈すと雖も柿天目として使用し得る。No.4は
黒釉として最も良好

2.2.5 題目 草牟田土配合ソバ釉の試験

番号 成分 及び結果	い	ろ	は	に	ほ	へ
草牟田土 雑木灰 野田土 焼成火度 呈色 光沢度 (釉) 成績順位	50 50 S.K. 8~9 流下状 伊羅保 系 良 4位	40 60 1,250°C 1,280°C 伊羅保 系 稍佳 6位	30 70 同 左同 佳 5位	60 40 同 流下状 ソバ系 良 3位	70 30 同 同 良 2位	70 30 1 同 良 1位

註 上記配合数字は苗代川業者の習慣に因みて泥漿杯合
せを行った

2.3 講習会並に技術指導

(1) 浜田庄司先生の現地指導

31年2月25日より同29日の5日間苗代川。3月1日より同4日迄で龍門司に於て懇切な指導を受けた。特に形
や機能の点では最も熱心に指導された。勿論業者の学び
得た技術は夥しい今回指導を受け試作した数量は 831点そ
のおもだつた品類を掲げれば

苗代川…甘酒半胴、摺鉢、水甕、盛鉢、塩干甕、土瓶、
四方形火鉢、口付徳利、酒壺、茶家類、横扁一
輪生、其他

竜門司…飯鉢、素焼鉢、片口、徳利、小皿、一輪生、バ
ター入、煎じ茶家、カラカラ、盃、シユケ、丸
土瓶、番茶碗各種、湯呑各種

何れも夫々各工場の特徴を良く活した本筋の物である。

(2) 有田より中村講師を迎え8月1日より同7日迄各工
場を巡回してロクロの指導講習会を開催した中村講師の
優れたロクロ成形手法を熱心に指導を受けた。

(3) 焼成法に就いての講習会

竜門司で5袋の登窯を一基新設した。古代の窯と構造
の異なる点があり、業者としても余り自信がないので焼成
法及びセーゲル並に引き出し色見使用方法に就いて、講
習会を行つた処其後窯焚きの回数を重ねるに従い益々良
品を焼出している。

(4) 昨年度に引続き中、小学校関係の窯爐、焼成、土
質、低火度釉、石膏型、鋳込法、機械ロクロ 据付等を指
導する

小学校……三笠町脇本小学校他8校

中学校……肝属郡田代中学校他7校

高等学校……種ヶ島農業高等学校他2校

業界指導……7

(5) その他

見学者数……889名

試作品……608点。楽焼窯用台座6・棚板8・支柱63本
大素焼2回、本焼4回、錦窯3回